

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公開番号】特開2008-197658(P2008-197658A)

【公開日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【年通号数】公開・登録公報2008-034

【出願番号】特願2008-31461(P2008-31461)

【国際特許分類】

G 0 9 F	9/40	(2006.01)
G 0 9 F	9/35	(2006.01)
G 0 9 F	9/00	(2006.01)
G 0 2 F	1/13357	(2006.01)
G 0 2 F	1/1347	(2006.01)
G 0 2 F	1/1333	(2006.01)

【F I】

G 0 9 F	9/40	3 0 3
G 0 9 F	9/35	
G 0 9 F	9/00	3 5 0 Z
G 0 2 F	1/13357	
G 0 2 F	1/1347	
G 0 2 F	1/1333	

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月19日(2011.1.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1側及び前記第1側と反対側である第2側に向って光を提供する光提供部と、
前記光提供部の第1側に配置され、前記第1側に向う光を用いて第1画像を表示する第1表示パネル部と、

前記光提供部の第2側に配置され、前記第2側に向う光を用いて前記第1画像より小さい第2画像を表示する第2表示パネル部と、

前記第2表示パネル部と前記光提供部との間に配置され、前記光提供部及び前記第1表示パネル部を収納する収納部と、

前記第2表示パネル部と前記収納部との間に配置され、前記第2表示パネル部と対応して開口が形成され、前記光提供部の第1側に向って反射される光量を減少させるためのフィルム部材と、

を含むことを特徴とする表示装置。

【請求項2】

前記フィルム部材は、前記開口の周縁部であって前記第2表示パネル部の周辺部に対応する結合領域を有することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項3】

前記フィルム部材の結合領域は、接着部材によって前記第2表示パネル部の周辺部と結合されることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項4】

前記結合領域に隣接して形成され、前記第2表示パネル部の少なくとも一側をガイドする整列部材を更に含むことを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項5】

前記第2表示パネル部は、
前記第2画像を表示する表示パネルと、
前記表示パネルを収納するモールドフレームと、
を含み、前記フィルム部材の結合領域は、前記モールドフレームの周辺部に結合されることを特徴とする請求項2に記載の表示装置。

【請求項6】

前記フィルム部材は、前記光提供部の第1側に向って反射される光量を減少させるために着色されることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項7】

前記フィルム部材は、黒色または灰色であることを特徴とする請求項6に記載の表示装置。

【請求項8】

前記フィルム部材及び前記収納部は、接着部材によって結合されることを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項9】

前記収納部と前記フィルム部材との間に配置される光学部材を更に含み、
前記光学部材は、前記第2表示パネル部の周辺部に対応する結合領域を有することを特徴とする請求項1に記載の表示装置。

【請求項10】

前記光学部材の結合領域は、接着部材によって前記第2表示パネル部の周辺部と結合されることを特徴とする請求項9に記載の表示装置。